



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月8日

上場会社名 名鉄運輸株式会社 上場取引所名  
 コード番号 9077 URL http://www.meitetsuunyu.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 米原 浩一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 小島 康史 (TEL) (052) 935-5721  
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績 (平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	23,301	11.4	750	△0.4	802	2.4	451	38.5
24年3月期第1四半期	20,914	△0.3	753	△1.4	783	3.7	325	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 361百万円 (12.1%) 24年3月期第1四半期 322百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年3月期第1四半期	18	56	—	—
24年3月期第1四半期	13	41	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	79,408	—	12,474	—	14.8	—
24年3月期	80,212	—	12,215	—	14.3	—

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 11,741百万円 24年3月期 11,456百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
24年3月期	—	0 00	—	2 50	2 50	—
25年3月期	—	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0 00	—	2 50	2 50	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	46,000	9.6	1,400	△11.9	1,300	△17.1	500	△40.6	20	58
通期	94,000	4.8	2,700	△15.4	2,500	△19.3	1,200	△43.1	49	38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、用式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、四半期決算短信(添付資料)4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	24,402,991株	24年3月期	24,402,991株
25年3月期1Q	103,273株	24年3月期	102,056株
25年3月期1Q	24,299,986株	24年3月期1Q	24,303,818株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報等 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州債務危機の再燃や海外経済の減速傾向の顕在化、為替の円高回帰、原油価格の高騰など、先行き不透明感が漂う中、「東日本大震災」後の厳しい状況からの復興需要やエコカー補助金などの政策効果により、緩やかながらも回復傾向で推移しました。

物流業界におきましても、このような状況を反映し、貨物量は震災の影響による大幅減の反動による増加や復興需要などを受けて、わずかに増加に転じましたが、景気の不透明感などにより、お客様からの物流コスト削減要請は一層強まりました。また、同業者間の競争は激化し、さらに燃料単価は高止まりするなど厳しい状況でありました。

当社グループでは、このような状況に対処してグループ共同で、統一した営業行動がとれるよう、定期的にグループ営業責任者会議を開催し、営業情報の共有化による営業戦略の立案とその実施に取り組みました。また、営業マンの増員を行うとともに、質的な向上をめざした営業マン教育も引き続き実施いたしました。

一方、「品質とサービスの名鉄運輸」として、お客様が当社グループに対し安心して荷物をお預けいただけるよう輸送品質の向上に取り組みました。荷物事故の撲滅等の指導をさらに強化し効果をあげるとともに、貨物量に応じた運行系統となるよう見直しを行いました。また、運行便のダイヤ運行に取り組み、確実に荷物をお届けできるよう配送網の整備とグループ間で重複する配送エリアの見直しにも取り組みました。

以上の結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上高は、昨年10月に四国名鉄運輸㈱とその子会社5社を連結子会社化した効果もあって、前年同四半期比11.4%増の23,301百万円となりましたが、前年の震災による救援物資輸送などの特需の剥落がありましたので、営業利益は前年同四半期比0.4%減の750百万円を確保するに止まりました。経常利益は、前年同四半期比2.4%増の802百万円となり、特別損益の改善等もありましたので四半期純利益は、前年同四半期比38.5%増の451百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は次のとおりであります。

## (貨物自動車運送事業)

貨物自動車運送事業における「路線事業」では、運賃単価の下落が続く中、積極的な営業による取り扱い貨物量の増加により、収入を確保することができました。「区域事業」では主力のお客様の低迷により収入は悪化、「引越事業」では、同業者との相見積もりによる競争が激化する中、収入は低迷しました。

以上の結果、四国名鉄運輸㈱とその子会社5社を連結子会社化した効果もあって、売上高は前年同四半期比13.0%増の19,861百万円となりました。

## (航空利用運送事業)

航空利用運送事業では、当社グループとの共同配送による効率化を推進するために営業拠点の統廃合を進めた一方で、四国名鉄運輸㈱の航空部門が加わった効果もあり、売上高は前年同四半期比6.3%増の2,007百万円となりました。

## (流通事業)

流通事業では、お客様である飲料メーカーや日用雑貨メーカーの荷動きは好調でしたが、精密機器メーカーが円高の影響に伴い国内製産を縮小し海外移転を進めたため、当社グループの請負業務が縮小したことなどにより、売上高は前年同四半期比2.0%減の1,402百万円となりました。

## (その他)

その他の事業では、遊休資産の有効活用に引き続き努めた結果、売上高は前年同四半期比32.6%増の31百万円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## [資産の部]

流動資産は、前連結会計年度に比べて2.4%減少し、15,285百万円となりました。これは、繰延税金資産が200百万円増加したことなどに対し、受取手形及び営業未収入金が619百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度に比べて0.7%減少し、64,123百万円となりました。これは、減価償却などにより有形固定資産が326百万円減少したことなどによります。

この結果、当第1四半期連結会計期間の資産合計は、前連結会計年度に比べて803百万円減少し、79,408百万円となりました。

## [負債の部]

流動負債は、前連結会計年度に比べて0.4%増加し、44,216百万円となりました。これは、未払法人税等が653百万円、短期借入金が570百万円減少したことなどに対し、未払費用などの増加によりその他が918百万円、1年内返済予定の長期借入金が868百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度に比べて5.3%減少し、22,717百万円となりました。これは、長期借入金が1,272百万円減少したことなどによります。

この結果、当第1四半期連結会計期間の負債合計は、前連結会計年度に比べて1,062百万円減少し、66,933百万円となりました。

## [純資産の部]

純資産合計は、前連結会計年度に比べて2.1%増加し、12,474百万円となりました。これは、主として利益剰余金が439百万円増加したことなどによります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の業績は、概ね予定通り推移しており、平成25年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成24年5月10日に公表いたしました業績予想から変更ありません。

なお、今後、業績予想に大きな変化がある場合には適時に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

一部の連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	600	587
受取手形及び営業未収入金	13,707	13,088
有価証券	2	2
貯蔵品	180	158
繰延税金資産	351	552
その他	925	996
貸倒引当金	△101	△99
流動資産合計	15,666	15,285
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	35,753	35,646
減価償却累計額	△23,554	△23,621
建物及び構築物(純額)	12,199	12,025
機械装置及び運搬具	23,950	24,130
減価償却累計額	△17,558	△17,766
機械装置及び運搬具(純額)	6,392	6,364
土地	38,393	38,282
リース資産	1,357	1,357
減価償却累計額	△776	△834
リース資産(純額)	581	522
建設仮勘定	—	49
その他	1,268	1,266
減価償却累計額	△1,018	△1,021
その他(純額)	249	244
有形固定資産合計	57,815	57,488
無形固定資産		
リース資産	243	211
その他	413	411
無形固定資産合計	656	623
投資その他の資産		
投資有価証券	2,285	2,141
長期貸付金	79	79
繰延税金資産	1,313	1,395
その他	2,465	2,458
貸倒引当金	△70	△64
投資その他の資産合計	6,073	6,011
固定資産合計	64,545	64,123
資産合計	80,212	79,408

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	9,138	9,008
短期借入金	21,110	20,539
1年内返済予定の長期借入金	7,065	7,933
リース債務	365	350
未払法人税等	1,261	608
賞与引当金	258	37
その他	4,820	5,738
流動負債合計	44,019	44,216
固定負債		
長期借入金	12,469	11,196
リース債務	410	332
繰延税金負債	317	316
退職給付引当金	7,218	7,367
役員退職慰労引当金	150	135
資産除去債務	578	580
再評価に係る繰延税金負債	2,396	2,366
その他	435	421
固定負債合計	23,976	22,717
負債合計	67,996	66,933
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,065	2,065
資本剰余金	1,534	1,534
利益剰余金	5,942	6,381
自己株式	△20	△20
株主資本合計	9,523	9,962
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	173	68
土地再評価差額金	1,760	1,711
その他の包括利益累計額合計	1,933	1,779
少数株主持分	758	733
純資産合計	12,215	12,474
負債純資産合計	80,212	79,408



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	20,914	23,301
売上原価	19,347	21,542
売上総利益	1,567	1,759
販売費及び一般管理費		
人件費	436	535
施設使用料	126	151
その他	250	322
販売費及び一般管理費合計	813	1,009
営業利益	753	750
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	38	39
持分法による投資利益	—	2
受取手数料	16	16
補助金収入	2	50
貸倒引当金戻入額	54	1
その他	34	31
営業外収益合計	147	142
営業外費用		
支払利息	106	87
その他	10	3
営業外費用合計	117	90
経常利益	783	802
特別利益		
固定資産売却益	25	37
負ののれん発生益	—	26
その他	0	7
特別利益合計	26	71
特別損失		
固定資産処分損	3	2
減損損失	9	6
投資有価証券評価損	—	7
割増退職金	48	—
その他	12	1
特別損失合計	75	18
税金等調整前四半期純利益	734	856
法人税、住民税及び事業税	515	665
法人税等調整額	△106	△278
法人税等合計	409	386
少数株主損益調整前四半期純利益	325	469
少数株主利益	0	18
四半期純利益	325	451

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	325	469
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	△108
その他の包括利益合計	△3	△108
四半期包括利益	322	361
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	322	345
少数株主に係る四半期包括利益	0	15

(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等  
【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	貨物 自動車 運送事業	航空利用 運送事業	流通事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	17,573	1,887	1,430	20,891	23	20,914	—	20,914
セグメント間の内部 売上高又は振替高	284	63	13	361	—	361	△361	—
計	17,857	1,951	1,444	21,253	23	21,276	△361	20,914
セグメント利益	1,252	118	206	1,577	16	1,593	△26	1,567

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおり  
ます。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	貨物 自動車 運送事業	航空利用 運送事業	流通事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	19,861	2,007	1,402	23,270	31	23,301	—	23,301
セグメント間の内部 売上高又は振替高	371	44	9	424	—	424	△424	—
計	20,232	2,051	1,411	23,695	31	23,726	△424	23,301
セグメント利益	1,540	67	155	1,763	22	1,786	△26	1,759

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおり  
ます。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。